

(案)

国立大学法人〇〇大学事業報告書（例）（抜粋）

「IV 事業の実施状況」

(1) 財源構造の概略等 (略)

(2) 財務データ等と関連付けた事業説明

ア. 〇〇セグメント

イ. 附属病院セグメント

(これまでの損益計算に加え、キャッシュ・フローに着目して、附属病院の経営状況を説明すること。)

(記載例)

附属病院は、…を目的として設置されている。平成 X 年度においては、年度計画において定めた…の実現のため、…、…等の事業を行った。

このうち、…事業については、…することとしているが、今年度の実施状況は…であり、順調に進捗している。また、…事業は、…を達成することとしているが、当事業については、今年度、…を実現することができたが、新たに… が判明した。

附属病院セグメントにおける事業の実施財源は、運営費交付金収益〇円 (〇% (当該セグメントにおける業務収益比、以下同じ))、授業料収益〇円 (〇%) …、となっている。一方、事業に要した経費は、診療経費〇円、教育経費〇円、研究経費〇円、一般管理費〇円となっている。差引き〇円の利益が生じているが、うち〇円は、法人化に伴う特殊な会計処理によるもので、これを考慮すると〇円となる。また、今年度において〇円の資金増加があったが、附属病院では、借入金により施設・設備の整備を行っており、償還に当たっては、附属病院収入を借入金の返済に先充てすることとなるため、投資活動において資金的な赤字が生じないよう運営しており、このため今年度では、予定していた診療機器等の取得〇千円のうち〇千円が財源の不足により実施できなかった。しかし、附属病院の機能の維持向上のため必要な機器等であることから、翌年度において優先的に実施することとしている。

このように、教育、研究、診療業務の実施に必要な資金の獲得が厳しい状況にあるが、今後とも附属病院の使命を果たすため必要な財源の確保を行うこととしている。

附属病院セグメントに係るキャッシュ・フロー

	金額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー(A)	
人件費支出 その他の業務支出 運営費交付金収入 附属病院運営費交付金	

(案)

特別運営費交付金 特殊要因運営費交付金 上記以外の運営費交付金 附属病院収入 補助金等収入 その他の業務収入	
II 投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	
診療機器等の取得のための支出 病棟等の取得のための支出 施設費収入 固定資産売却による収入 その他の投資活動による支出 その他の投資活動による収入 利息及び配当金の受取額	
III 財務活動によるキャッシュ・フロー(C)	
借入れによる収入 借入金の返済による支出 借入利息等の支払額 ファイナンス・リース料 その他の財務活動による支出 その他の財務活動による収入	
IV 資金に係る換算差額(D)	
V 資金増加額 (又は減少額) (E=A+B+C+D)	
VI 外部資金によるキャッシュ・フロー(F)	
寄付金支出 寄付金収入 受託研究・受託事業等支出 受託研究・受託事業等収入	
VII 資金増加額 (又は減少額) (G=F+E)	
(参考) 法人全体の資金増加額 (又は減少額)	

(3) 課題と対処方針等 (略)